

将来の夢や職業へのイメージを高める職場見学の事例(小学校)

小学校の総合的な学習の時間での職場見学での留意点

■ 小学校の職場見学で大切にすべきことは、総合的な学習の時間の探究活動であることです。そこで、中学校の事例（p44～p45参照）と同様に、3つのポイントを意識して学習を展開していきます。特に小学校では、次の2点に留意して職場見学を行うことが大切です。

留意点1

自分の仕事に誇りを持ち、生きがいを感じながら取り組んでいる働く人の思いにふれる。

留意点2

自分の将来の夢や職業について、どんな力が必要なのか自ら気づき、行動を変容させるきっかけをつくる。



単元指導計画の例

■ この例は、自分の将来への夢やあこがれをもち、職場見学を通して、「こだわりをもって仕事に励んでいる職業人」の考え方や行動を学んでいます。さらに、中学校見学を行い、「夢の実現に向かって努力している中学生」の考え方や行動から学び、今の自分ができることを考え、実践化を図った事例です。

■ 小学校第6学年 単元名 「つくろう！わたしの『夢実現プラン』」

■ 目標

Point 1

【学習内容】

* 将来へのイメージが高まった姿 *

- 自分の将来への関心や課題意識をもつ児童
- 夢やあこがれの実現に向けた、「働くとき」「学ぶとき」に大切なことを理解できる児童
- 夢やあこがれの実現に向けて、実践することの大切さをとらえ、行動しようとする児童



【資質や能力】

* 問題解決能力 *

- 自分の夢やあこがれから課題を見出し、その実現のために大切なことを追究し、今の自分がすべきことを明らかにする。

* 学び方やものの考え方 *

- 自分の特徴について考え、職場見学、中学校見学、日常での実践など通して情報を収集し、憧れや夢の実現に向けて大切なことを考えることができる。

* 主体的・創造的・協同的な態度 *


- 自分の将来への関心をもち、夢やあこがれの実現に向けて必要な考え方や行動を追究し、それに向けて行動しようとするすることができる。

* 自己の生き方 *

- 学んだことから自分の成長を感じ取り、夢やあこがれを意識して自分の生活を見直し、できることを実践しようとする。

■ 単元計画

	学習活動・内容	総合的な学習の時間の3つのポイントと夢実現プラン
課題把握	<p>1 今の自分と将来の自分とのつながりから学習課題を設定する。</p> <p>(1)20年後の自分の姿を考え、予想年表をつくる。</p> <p>〈考える3つの視点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来どんな人になりたいか ・将来、どんなことがしたいか ・自分にはどんな特徴があるか 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">⑤学んだことをもとにした自分の今後の在り方 </p> <p style="text-align: center;">④体験活動で学んだ内容</p> <p>プラン1: 夢を実現した人との出会い→自分との共通点や相違点 プラン2: 職場見学→「働く」ときに大切なこと プラン3: 中学校見学→「学ぶ」ときに大切なこと プラン4: 学校での実践→夢やあこがれの実現に向けて、今、できること プラン5: 単元のまとめ→自己の見方や考え方の変容</p> <p style="text-align: center;">③活動のめあてと計画 </p> <p style="text-align: center;">②憧れや夢につながる自分の特徴</p> <p style="text-align: center;">①自分の夢やあこがれ</p> </div> <p>※このプランは、収集した情報を整理・分析する際に効果的です。</p> <p>【体験活動後に作成する夢実現プランの概要】</p>

<p>課題把握</p>	<p>(2)夢を実現させた人と、自分の予想年表の共通点や相違点から学習課題を設定する。 ○実現までの話を聞き、実現させるためのポイントを話し合う。</p>	<p>Point 2</p> <p>* 自己課題の設定 *  夢をかなえたいという気持ちは同じだけど、私たちは「働くこと」「学ぶこと」についての具体的な考えがないし、努力もまだまだ…。夢を実現した人や実現に向けて頑張っている人たちの考え方や行動をもっと知りたいな。</p> <p>[学習課題] 夢やあこがれの実現に向けて、「働くこと」や「学ぶこと」について、具体的な考え方や行動を明らかにしていく「夢実現プラン」をつくらう。</p> <p>※夢実現プラン1作成</p>
<p>課題追究</p>	<p>2 課題解決に向けた計画を立て、職場見学を行い、「働く」とき大切なことを明らかにする。 (1)職場見学の計画を立てる。 (2)課題をもって職場見学を行う。 (3)学んだことを交流し、「働くとき」に大切なことをとらえる。 ※夢実現プラン2作成</p> <p>3 中学校見学を行い、「学ぶ」ときに大切なことを明らかにする。 (1)中学校見学の計画を立てる。 (2)課題をもって中学校見学を行う。 (3)中学生の考え方や行動を交流し「学ぶとき」に大切なことをとらえる。 ※職場見学と同じ視点で夢実現プラン3作成</p>	<p>留意点 1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>⑤職業人に学んだ考え方や行動をもとにした自分の今後の在り方</p> <p>自分なりに努力はしていたけど、ただ料理をするだけで、人のことは考えていなかった。これからは、家族が喜んでくれることを目標として、お菓子を作って、食べた感想を聞いて、次に生かせるようにしたい。</p> <p>働く人は、自分の持ちようを生かし、「人のために」という目標をもって、努力し、失敗を次に生かすため繰り返している</p> <p>④ 職場見学のまとめ(個人)</p> <p>④ 見学後の全体交流のまとめ</p> <p>③ 職場見学の課題と計画</p> <p>② 夢につながる自分の特徴</p> <p>① 自分の夢(職場見学前)</p> <p>「働くときの大切なこと」をさがすため、パティシエの○○さんの ○ケーキ作りをする姿を見る ○お客さんをあきさせないものをつくるためにどんな努力をしているか尋ねる</p> <p>「何をきいてもわからないかな」 ・周りをきれいに整理・飾り付ける細かな作業をしているときは真剣な顔 ・家に帰ってから自分で新しい商品を考えています。他のお店にないものをつくらうと心がけています。 「喜ばれることは、自分も嬉しい」</p> <p>「それにつながるわたしらしさは…」 ○優しくすることができる ○料理をするのが好き</p> <p>人を喜ばせるパティシエ 料理をすることが好きだし、食べてくれる人が喜んでくれると嬉しいから</p> </div> <p>【夢実現プラン2(職場見学を終え、全体で交流後作成)】 ※①～⑤は、作成の手順</p>
<p>課題解決</p>	<p>4 夢やあこがれの実現に向け、今すべきことを実践し、プランにまとめる。 (1)今まで学んだことから、小学校6年生として、今できることを考える。 (2)今できることの実践計画を立て、日常での実践をまず1週間行う。 ※夢実現プラン4作成 (3)実践を振り返り、憧れや夢に向かう今の自分に大切なことを明らかにする。 ※夢実現プラン5作成</p>	<p>Point 3</p> <p>留意点 2</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>④体験活動を通しての自分の見方や考え方の変容</p> <p>⑤夢やあこがれの実現に向けた、これからの自分の行動目標の設定</p> <p>わたしの夢実現プラン</p> <p>多くの人を喜ばせるわたしを目指して</p> <p>だから、残りの小学校生活でたくさんの人に明るく人に接していきます。</p> <p>ただ努力することが大切だと考えていた ↓中学生の○○さんの話や実践活動を通して</p> <p>自分のよさ生かし、人のことを考えた目標が大切だと思った。だから、わたしの優しさを発揮し下級生や友達と接していきたい。</p> <p>将来のことを何となく考えていた ↓職場見学や中学校見学を通して</p> <p>今の自分を見つめることが大切だと分かった</p> <p>料理が得意なことや優しさなど ↓人を喜ばせることができるという考えから 優しさを発揮していきたい</p> <p>人を喜ばせるパティシエ ↓パティシエの○○さんと中学生の○○さんの話を聞いて</p> <p>「人を喜ばせるために努力し続けるパティシエ」になりたい</p> <p>① 考え方や行動がより具体化された自分の夢やあこがれ</p> <p>② 単元で学んだことを付加した夢につながる自分の特徴</p> </div> <p>【夢実現プラン5(単元を終了時、自己の生き方を考えるために作成)】</p>

■ この事例は、職場見学で学んだことを今の自分の生活と結び付けながら、将来のイメージを高めていく指導計画の一例です。ここでは、まず、①働く人の考え方や行動を観察し、自分の将来の夢や職業についてどんな力が必要なのかイメージを高めています。次に、②中学校見学へ行き、先輩の姿から、夢に向かって今できることを考え、努力することの大切さを学んでいます。そこでの学びを生かし、③小学校第6学年という最高学年としての今の自分の役割やよさを生かした実践活動へとつなげています。ここでは、中学校見学を行っていますが、職場見学だけでも、自分の将来へのイメージを高めることができます。

また、学びをつくり出すキャリア教育の視点から、各教科等で重点化した能力との関連を図り、目標設定・学習活動の工夫・学び方の評価を行うと勤労観・職業観の更なる高まりが期待できます。

